

I 客観評価

【評価方法】 ・提出された「法人概要書」「実績確認書」「機能確認書」「価格提案書」により評価を行う。 ※評価項目や評価点の算出方法については、下表を参照
--

評価項目		評価点の算出方法		評価点																	
①法人概要書																					
認証等の保有状況	提出を受けた法人概要書（様式第2号）を基に、以下に示す各認証等の保有の有無により評価点を決定する。 ※各項目の基礎評価点の合計点を評価点とする。																				
	<table><tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">認証名称</th><th colspan="2">基礎評価点</th></tr><tr><th>保有あり</th><th>保有なし</th></tr><tr><td rowspan="2">情報保護</td><td>情報セキュリティマネジメントシステム（I S M S）</td><td>5</td><td>0</td></tr><tr><td>（一社）日本情報経済社会推進協会のプライバシーマーク認定</td><td>2.5</td><td>0</td></tr><tr><td>品質管理</td><td>品質マネジメントシステム（I S O 9 0 0 1）</td><td>2.5</td><td>0</td></tr></table>			区分	認証名称	基礎評価点		保有あり	保有なし	情報保護	情報セキュリティマネジメントシステム（I S M S）	5	0	（一社）日本情報経済社会推進協会のプライバシーマーク認定	2.5	0	品質管理	品質マネジメントシステム（I S O 9 0 0 1）	2.5	0	
区分	認証名称	基礎評価点																			
		保有あり	保有なし																		
情報保護	情報セキュリティマネジメントシステム（I S M S）	5	0																		
	（一社）日本情報経済社会推進協会のプライバシーマーク認定	2.5	0																		
品質管理	品質マネジメントシステム（I S O 9 0 0 1）	2.5	0																		
②実績確認書																					
類似業務の実績件数	提出を受けた実績確認書（様式第3号）を基に、以下の基準により実績件数に応じて評価点を決定する。																				
	<table><tr><th>実績件数</th><th>評価点</th></tr><tr><td>5件以上</td><td>40</td></tr><tr><td>2～4件</td><td>20</td></tr><tr><td>1件</td><td>0</td></tr></table>			実績件数	評価点	5件以上	40	2～4件	20	1件	0										
実績件数	評価点																				
5件以上	40																				
2～4件	20																				
1件	0																				
③機能確認書																					
●共通 1．基本機能：19項目 2．権限：3項目 ●工事契約管理システム 1．共通：5項目 2．業者管理：26項目 3．契約管理：40項目 ●工事成績評定システム 1．共通：11項目 2．工事成績評定：7項目 3．業務委託成績評定：2項目 ＜計＞113項目	提出を受けた機能確認書を基に、以下の判定区分、評価点算定式により評価点を算定する。 ＜判定区分＞ A：「可(パッケージ)」…基本パッケージとして提供・利用可能 B：「可(カスタマイズ)」…カスタマイズすることで提供・利用可能 C：「その他」…機能としては提供できないが、保守の範囲で補完的に対応可能 D：「不可」…機能として提供できない（保守の範囲でも対応不可） ＜評価点算定式＞ 400点×(Aの数×1.0+Bの数×1.0+Cの数×0+Dの数×0)÷全項目数 ※なお、評価点は、四捨五入により、小数点第2位まで表示する。																				
④価格提案書																					
構築業務及び運用保守に係る費用	提出を受けた価格提案書を基に、以下の評価点算定式により評価点を算定する。 ＜評価点算定式＞ ①構築費：150点×（提案価格のうち最低価格÷自社の提案価格） ②運用・保守費：50点×（提案価格のうち最低価格÷自社の提案価格） ※なお、評価点は、四捨五入により、小数点第2位まで表示する。																				
計																					

II 主観評価

【評価方法】 ・プレゼンテーション及びデモンストレーションにより評価を行う。 ※評価項目や評価点の算出方法については、下表を参照
--

評価項目		提案・実演内容		着眼点	評価基準・評価点の算定方法		基礎評価点	傾斜値	評価点										
⑤プレゼンテーション																			
(ア) 業務目的の理解	業務目的の理解	業務目的を踏まえ、業務実施にあたっての基本的な考え方を示すこと。	本市の業務目的を十分に理解した上での基本的な考え方が示されているか。	以下の評価基準・評価点算定式により評価点を算定する。 ＜評価基準＞ <table><tr><th>基礎評価点</th><th>評価内容</th></tr><tr><td>5</td><td>標準より優れた提案</td></tr><tr><td>4</td><td>標準よりやや優れた提案</td></tr><tr><td>3</td><td>標準な提案</td></tr><tr><td>2</td><td>標準よりやや劣る提案</td></tr><tr><td>1</td><td>標準より劣る提案</td></tr></table>	基礎評価点	評価内容	5	標準より優れた提案	4	標準よりやや優れた提案	3	標準な提案	2	標準よりやや劣る提案	1	標準より劣る提案			1.0
	基礎評価点	評価内容																	
	5	標準より優れた提案																	
	4	標準よりやや優れた提案																	
	3	標準な提案																	
2	標準よりやや劣る提案																		
1	標準より劣る提案																		
(イ) 提案者の信頼性に関する情報	コンプライアンス体制	コンプライアンス（法令遵守・ハラスメント対策を含む）に対する自社の取組みについて、具体的に示すこと。	コンプライアンス（法令遵守・ハラスメント対策を含む）に対する取組みについて、具体的に示されているか。			1.0													
	個人情報・機密情報の保護	個人情報・機密情報保護に対する自社の取組みについて、具体的に示すこと。	個人情報保護に対する取組みについて、具体的に示されているか。			1.0													
			機密情報保護に対する取組みについて、具体的に示されているか。			1.0													
危機管理体制	感染症、地震等の大規模災害、情報漏洩等、有事の際の危機管理対策に対する自社の取組みについて、具体的に記載すること。	感染症、地震等の大規模災害、情報漏洩等、有事の際の危機管理対策に対する取組について、具体的に示されているか。			1.0														
(ウ) 作業スケジュール	構築業務の作業スケジュール	仕様書に示す構築業務内容を踏まえた上で、システム構築に関する作業スケジュールを具体的に示すこと。 本市職員等の関与が必要となる作業および時期を示すこと。	作業スケジュールについて、具体的に示されているか。	＜評価点算定式＞ ①各項目ごとの評価基準を基にした基礎評価点×傾斜値の合計 ②各委員の①の合計点÷評価を行った委員の数 ※なお、評価点は、四捨五入により、小数点第2位まで表示する。			1.0												
			動作テスト等、本市職員の関与が必要になる作業および時期が具体的に示されているか。				1.0												
			示されたスケジュールは、全行程を通じて無理のない内容になっているか。				1.0												

(エ) 運用・保守	セキュリティ	システム運用時におけるセキュリティ対策等について、具体的に示すこと。	運用時におけるアクセス制限、操作ログの取得、暗号化通信、その他セキュリティ対策を講じ、データが第三者から閲覧されない環境が構築されているか。			2.0	
			運用時において、本市職員が権限外の業務や情報へアクセスできない仕組み・環境が講じられているか。			2.0	
	バックアップ	システムデータのバックアップの方法・頻度（例：日次バックアップを行う、等）について、具体的に示すこと。	本市業務に支障が生じないようなバックアップの方法・頻度になっているか。			2.0	
	サポート体制	システム運用時におけるサポート体制について、具体的に示すこと。 （例：原則当日中に1次回答を行う。災害発生時には至急の問合せに対応する受付窓口を設ける、等）	本市からの問い合わせに対して、適時に対応できる体制となっているか。			2.0	
			災害時や重大な障害発生時、至急の問合せに対して、十分な対応ができる受付窓口が設置されているか。			2.0	
	運用保守管理	システム運用・保守契約における、軽微な保守の具体的な範囲（※）、早急な保守対応を行うための方法（例：保守の方法はリモート保守とする、報告を受けてから着手までの時間は〇時間以内とする、等）について、具体的に示すこと。 ※客観評価「③機能確認書」において、「判定区分：C」とした事項について、保守での対応内容を記載すること（その際、機能確認書の対応する項目名・No.も記載すること）。	保守の範囲について、通常使用に伴って発生するバグ修正を行うことができる具体的な提案となっているか。			3.0	
			保守の範囲について、軽微な保守（マスタ変更や法改正対応等、機能要件を補完するもの）を行うことができる具体的な提案となっているか。			0.5	
			※客観評価「③機能確認書」において、評価が全てA・Bである場合には、システム側で対応が充足できているため、提案の記載を求めないこととし、点数を2.5点（満点）とする。				
			保守対応について、早急な対応を行うことができる具体的な提案となっているか。			2.5	
	障害発生時の対応	システム運用時における障害発生時の対応方法（報告を含む）等について、具体的に示すこと。	障害発生時に、速やかに本市と情報共有を行い、早期の復旧作業着手・完了ができる対応方法となっているか。			2.0	
(オ) 導入支援	システム導入時の職員向け研修、マニュアル等	研修に直接参加しなかった職員や新任の職員であっても、システムの操作方法について習熟することができる提案になっているか。			2.0		
		マニュアルが随時最新化され、本市に提供される提案になっているか。			2.0		

⑥デモンストレーション							
A. 工事契約管理システム							
(ア) 視認性	画面の構成等	一連の作業画面（案件登録～入札結果登録）を例に、画面の構成、エラー発生時の表示等を示すこと。	画面におけるヘッダー（タイトル）、検索窓、データ項目、ボタンなどの配置場所がわかりやすく区分けされているか。	④プレゼンテーションの例による		3.0	
			利用者が現在作業中の画面がどの階層（ステータス）であるかを一見して把握することができるか。			3.0	
			次の画面への遷移や入力内容の確定処理など、次に必要なアクションの識別及び実行が容易な画面レイアウトになっているか。			3.0	
			エラーが発生した場合、該当箇所がわかりやすく表示され、次のアクションを認識できるメッセージ等が表示されるようになっているか。			3.0	
(イ) 操作性	操作補助、入力ミス等の未然防止	一連の作業画面（案件登録～入札結果登録）を例に、各種入力作業等において、操作ミス・入力誤りを防止するような仕組みを説明すること。	必須入力項目や入力不可項目など、画面表示されている項目の状態で、一目でわかるようになっているか。		3.0		
			作業効率を上げるため、極力スクロールやカーソル操作等の少ない画面レイアウトになっているか。		3.0		
(ウ) 機能性（作業補助）	データ検索・出力・集計	案件データ等の検索方法、実績出力方法を説明すること。	データ検索や特定の条件設定による実績抽出が、直観的な操作で行える仕組みになっているか。			2.0	
B. 工事成績評定システム							
(ア) 視認性	画面の構成等	一連の作業画面（工事・委託業務完了～成績評定・検査月報等の出力）を例に、画面の構成、エラー発生時の表示等を示すこと。	画面におけるヘッダー（タイトル）、検索窓、データ項目、ボタンなどの配置場所がわかりやすく区分けされているか。	④プレゼンテーションの例による		2.0	
			利用者が現在作業中の画面がどの階層（ステータス）であるかを一見して把握することができるか。			2.0	
			次の画面への遷移や入力内容の確定処理など、次に必要なアクションの識別及び実行が容易な画面レイアウトになっているか。			3.0	
			エラーが発生した場合、該当箇所がわかりやすく表示され、次のアクションを認識できるメッセージ等が表示されるようになっているか。			3.0	
(イ) 操作性	操作補助、入力ミス等の未然防止	一連の作業画面（工事・委託業務完了～成績評定・検査月報等の出力）を例に、各種入力作業等において、操作ミス・入力誤りを防止するような仕組みを説明すること。	必須入力項目や入力不可項目など、画面表示されている項目の状態で、一目でわかるようになっているか。		3.0		
			作業効率を上げるため、極力スクロールやカーソル操作等の少ない画面レイアウトになっているか。		3.0		
(ウ) 機能性（作業補助）	データ検索・出力・集計	案件データ等の検索方法、実績出力方法を説明すること。	データ検索や特定の条件設定による実績抽出が、直観的な操作で行える仕組みになっているか。			4.0	
計							